

令和6年度 下水道事業会計当初予算について

重要施策

○下水道整備事業

26,789百万円

下水道サービスを継続的に提供するため、管渠・ポンプ場・水処理センターにおける老朽化した施設の改築更新を最重点として、計画的に取り組む。

また、重点地区を定めた「雨水整備D o プラン2026」により、雨水対策を進めるとともに、天神周辺地区については、都心部の雨水対策を強化した「雨水整備レインボープラン天神」により、従来の流下型施設の整備に加え、雨水流出抑制施設の導入も進める。

さらに、地震被害を軽減するための既存施設の耐震化に取り組む。

また、新たなまちづくりに併せた施設の整備、公共用水域の水質保全のための合流式下水道の改善など、管渠・ポンプ場・水処理センターの整備を計画的に推進し、都市環境の向上に努める。

加えて、資源の有効利用を図るため、下水処理水による再生水利用を推進するとともに、再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組む。

(1) 下水道施設のアセットマネジメント 15,951百万円

管渠 43km、梅光園ポンプ場、西部水処理センター 外

(2) 浸水対策 5,490百万円

中部13号幹線、中部15号幹線 外

(3) 地震対策 1,875百万円

月隈第8雨水幹線 外

(4) 未整備区域の解消 2,642百万円

みなと香椎 外

(5) 合流式下水道の改善 339百万円

天神周辺地区 外

(6) 再生水利用 492百万円

中部水処理センター 外

令和6年度 下水道事業会計当初予算の内訳

収益的収支

(単位:百万円、△:減)

区 分		6年度 (A)	5年度 (B)	増減 (A)－(B)	前年度比(%) (A)／(B)
収益的収入	下水道使用料	30,832	29,703	1,129	103.8%
	一般会計繰入金	16,066	15,866	200	101.3%
	その他	10,977	11,149	△ 172	98.5%
	計	57,875	56,718	1,157	102.0%
収益的支出	維持管理費	19,062	17,908	1,154	106.4%
	企業債利息等	3,465	3,751	△ 286	92.4%
	減価償却費等	28,743	29,009	△ 266	99.1%
	計	51,270	50,668	602	101.2%
収益的収支差額		6,605	6,050	555	

資本的収支

(単位:百万円、△:減)

区 分		6年度 (A)	5年度 (B)	増減 (A)－(B)	前年度比(%) (A)／(B)
資本的収入	企業債	17,649	18,571	△ 922	95.0%
	国庫補助金	6,751	7,518	△ 767	89.8%
	一般会計繰入金	4,295	4,411	△ 116	97.4%
	企業債償還金 積立金戻入	3,036	3,890	△ 854	78.0%
	その他	566	653	△ 87	86.7%
	計	32,297	35,043	△ 2,746	92.2%
資本的支出	建設改良費	28,116	27,635	481	101.7%
	企業債償還金	23,910	27,101	△ 3,191	88.2%
	企業債償還金積立金	5,509	5,532	△ 23	99.6%
	その他	11	11	0	100.0%
	計	57,546	60,279	△ 2,733	95.5%
資本的収支差額		△ 25,249	△ 25,236	△ 13	

(単位:百万円、△:減)

補てん財源		25,249	25,236	13
	減債積立金	5,466	4,322	1,144
	損益勘定留保資金	18,423	19,463	△ 1,040
	消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	1,360	1,451	△ 91

※資本的収入が資本的支出に対し不足する額については、左の表のとおり、減債積立金、損益勘定留保資金（減価償却費等）、消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんします。

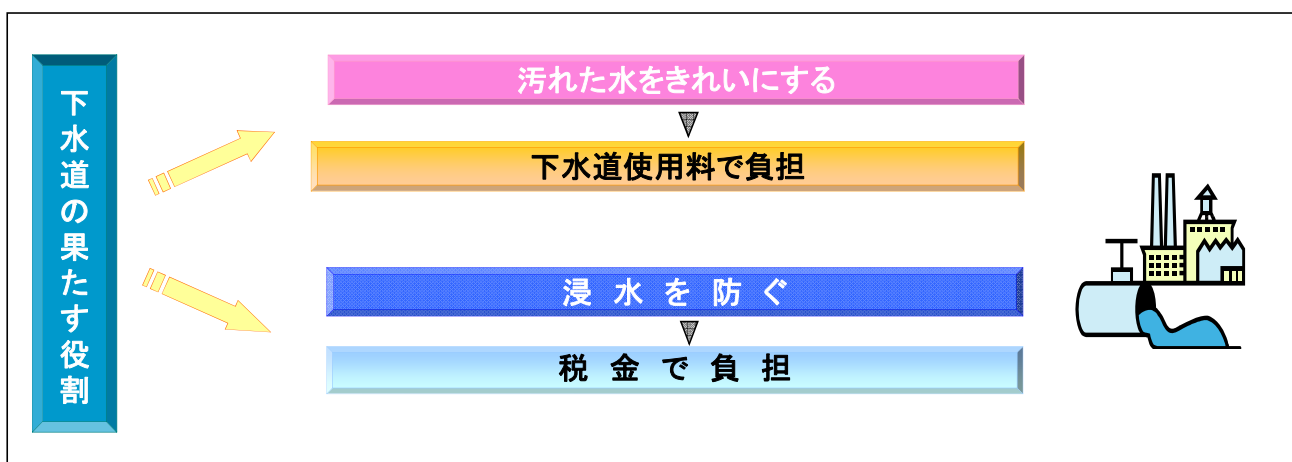
下水道の財政について

下水道施設を維持・管理する経費

下水道は、家庭や工場などから排出される汚水を下水管で水処理センターまで運び、きれいにして川や海に流すことで、川や海の水質を保ち、豊かな自然環境を守っています。また、地面に降った雨水を、道路側溝、下水管や雨水排水ポンプ場を経て速やかに川や海へ流し、道路や建物が浸水しないようにまちを守っています。

下水道事業にかかる経費負担区分の考え方は、受益者負担の考えから、家庭や工場などから排出される汚水の処理は、下水道使用者の皆様から使用料をいただいて事業を行い、自然に起因する雨水を排水し浸水を防ぐ雨水処理は、税金で事業を行っています。

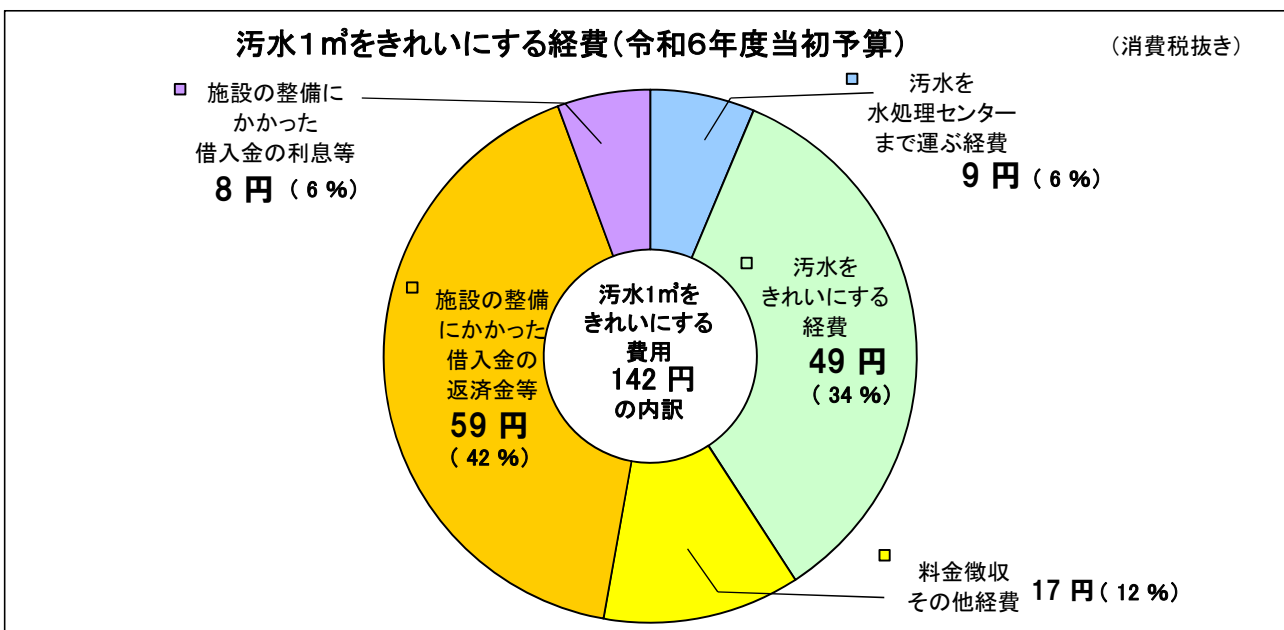
【雨水公費・汚水私費の原則】



【汚水処理にかかる経費の内訳】

汚水の処理に必要な費用は下水道使用者の皆様からいただいた下水道使用料でまかないます。

汚水1㎡（1,000ℓ）を処理するには約142円かかりますが、その内訳は下記のとおりで、下水道施設の維持管理や施設建設時の借入金の返済などの経費に使われています。

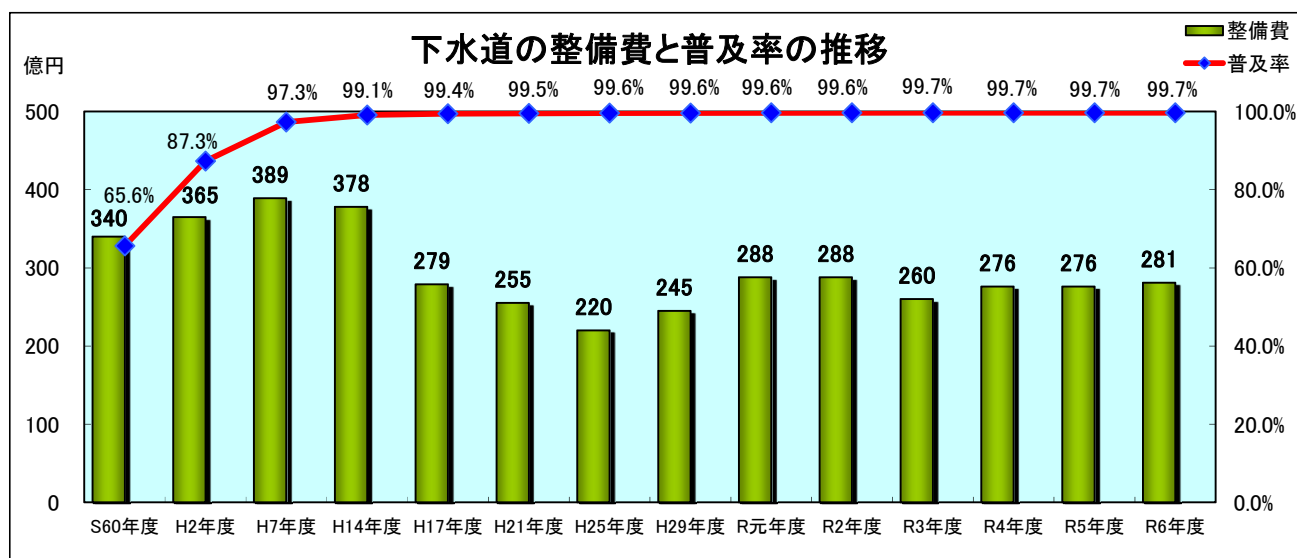


下水道施設を建設するための経費

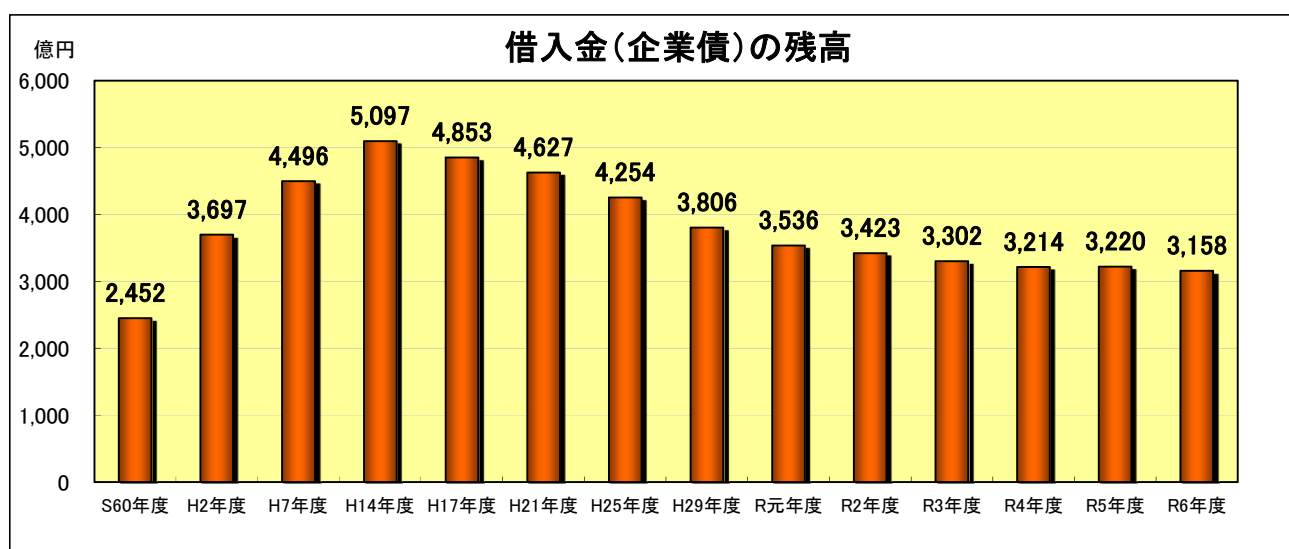
下水管や水処理センターなどを建設するためにはたくさんの費用がかかります。その費用は国からの補助金や借入金（企業債）でまかなわれ、借入金の返済は下水道使用料や税金でまかなわれています。

本市ではオイルショック以降、本格的な整備を進め下水道の普及向上を図ったため、企業債の残高も年々増加し、平成14年度がピークで約5,097億円ありましたが、企業債の発行額を償還額の範囲内に抑制したことで、令和4年度末には約3,214億円と20年間で1,883億円減少しました。令和6年度末の企業債残高は約3,158億円を予定しています。

本市の下水道整備は、水洗化普及のための整備が概ね完了したことから、現在は老朽化した施設の改築更新をはじめ、浸水対策や合流式下水道の改善に重点をおいた整備を行っています。



※R4年度までは決算値、R5年度は最終予算、R6年度は当初予算を計上



※R4年度までは決算値、R5年度は最終予算、R6年度は当初予算を計上